

卒業祝う花道も笑顔



成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより祝200号
R2. 3. 10

今年も素晴らしい卒業生を送り、彼らの美しい晴れ姿を観ることができました。

第72回卒業式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業生と保護者、先生方でのみ開催しました。在校生達がいらない中、先生達は精一杯に温かい送り出しをしてくれました。

体育館のシートを敷き、座席をメジャーで正確に並べ、保護者が見やすいようにと席をすらして設置、花のプランターの泥を丁寧にふきとり、壁面を時間をかけて設置し、最後に会場全体を掃除し、体育館の窓ガラスを高圧洗浄機で洗い流し、新聞紙で丁寧に磨いた。こんな素晴らしい気配りができる職員が羽地中職員なのだ。嬉しかった。

卒業式は、厳粛の中、淡々と進んだ。来賓を呼ばずにお祝いの言葉を誌面で紹介し、式辞や送辞・答辞も短縮し、在校生の卒業生を送る歌もなかった。それでも、第72回卒業式は手作りの温かい卒業式だったと思う。

職員のアイデアから生まれたのであろう在校生達のビデオメッセージは良い企画でした。学級カラーが出ており、楽しいメッセージで卒業生達も満足していたと思います。来年度も羽地の卒業式の伝統として継続してほしい。



光る希望



最後の花道では、もうみんな当たり前のように、笑顔で記念撮影。そして好きな者同士ととびきりの笑顔で記念撮影。

赤い卒業証書と生徒会からの花一輪、そして、笑顔。これだけで良いのだ。この笑顔が私たちのこれまでの教育の総決算なのだ。

それぞれがそれぞれの道を歩んでいくのにふさわしい花道。少しの不安とこれまで頑張ってきた自信を魂に持ち、これからの高校生活や社会生活で活かしていく花道。

これから少しずつ自分で未来を切り開いていく花道なのだ。もう少し大人になると、照れずに卒業後の近況を語り合い、同窓会を開催し、名残惜しいくらいにたくさん思い出しに花が咲くのである。いつか、そんなすてきな卒業式の花道・第二章・第三章に展開してほしいと願うばかりだ。

卒業 おめでとう。

